 合的なデ、サ、イン方法論の構築に関して、様々な分野でシステムデ、サ、イン研究の実証を)した検証を行った。 前野らは、日本創造性学会において、感動のSTAR分析に関して有効性を検証する研究を発表し。 また当麻らは、Shuichi Fukudaが編集した書籍である「Emotional Engineering」(Springer International Publishing出版)の中で、スキル改善のための方法論を開発し、その可視化を行った。 前野・当麻らは、支援対話研究誌において、Generative Dialogue設計方法を提案するとともに、有効性を検証した。神武らは、オペレーションズ・リサーチ誌において、スポーツ価値向上のごめのシステムデザインとデータ活用に関して発表し、実証のな検証を行った。さらに神武らは、 ournal of Disaster Research誌において、水資源マネジメントのデータコミュニケーション実証 証を行った。五百木らは、RIBER (Review of Integrative Business and Economics Research)誌おいて、社会の超場学習の評価とその効果を促進する方法に関して実証的研究を行った。まご五下よらは、RIBER誌おいて、コミュニティの活性度を測定し、それを高めるための手法にして発表した。 本研究て、ば、実際にフ、ロトタイビ、ンク、を作成したり、フィールト、て、実践することしより方法論の検証を実施し、異なる様々な分野における通知です。たよおける有効性を高め ことに寄与した。 With regard to the systematization of cross-disciplinary learning across multiple fields such as technology and social sciences, and the construction of a system-integrative design methodolog based on this, verification was conducted through demonstrations of system design research in various fields. At the Japan Creativity Society, Maeno et al. presented a study to test the effectiveness of the STAR analysis of impression. We also developed and visualized a methodology for skill improvement in "Emotional Engineering" (Springer International Publishing), a book edited by Shuichi Fukuda. Maeno and Toma et al. Have proposed a generative dialogue design method and verified its effectiveness in a supporting dialogue research journal. In the Operations Research magazire, Kohtake and others presented on system design and dai utilization to improve sports value and conducted dempirical verification. Furthermore, Kohtake et conducted data communication demonstrations of water resource management in the Journal of Disaster Research. In a review of RIBER (Review of Integrative Business and Economics Research), loki et al. conducted an empirical study on evaluation of cross-border learning for aduts and how to promo 						
Author 五百木, 誠(loki, Makoto) Publisher 慶應義塾大学 Publisher 慶應義塾大学 Publication year 2019 Jutic 学事振興資金研究成果実績報告書(2018.) JalC DOI Abstract 技術や社会科学なと「複数分野にまたか「る横斯的学問の体系化と、これに基つ「くシステム」 合的なデ「サ「イン方法論の構築に関して、様々な分野でシステムデ「サ「イン研究の実証を注 した検証を行った。 前野らは、日本創進性学会において、感動のSTAR分析に関して有効性を検証する研究を発表し 。また当麻らは、Shuichi Fukudaが編集した書籍である「Emotional Engineering」(Springer International Publishing出版)の中で、スキル改善のための方法論を開発し、その可視化を行った。 有効性を検証した。神武らは、オペレーションズ・リサーチ誌において、スペ可ツ価値向上の) めのシステムデザインとデータ活用に関して発表し、実証的な検証を行った。さらに神武らは、 ournal of Disaster Research誌において、水資源マネジメントのデークフラミュニアージョン実証 証を行った。またも、RIBERR (Review of Integrative Business and Economics Research おいて、社会人の越境学習の評価とそつ効果を促進する方法に関して実証的研究を行った。また 五百木らは、RIBER (Review of Integrative Business and Economics Research およいて、社会人の越境学習の評価とそつ効果を促進する方法に関して実証的研究を行った。まれ 五百木らは、RIBER おとは、NFER (Review of Integrative Business and Economics Research おいて、社会人の越境学習の評価とそ、つ効果を促進する方法に関して実証的研究を行った。まれ 五百木らは、RIBER (Review of Integrative Business and Economics Research おいて、社会人の通知を変更進し、異なを様々な分野における適切ディールト・で「実践すること」 より方法論の検証を実施し、異なる様々な分野における適切ディールト・で「実践すること」 より方法論の検証を実施し、異なる様々な分野における道明デ・「クタを収集した。これにより、 更に多くの分野て「の適用を図り、検証を進め事ができたため、社会における有効性を高み ことに寄与した。 With regard to the systematization of cross-disciplinary learning across multiple fields such as technology and social sciences, and the construction of a system design methodolog based on this, verification was conducted through demonstrations of system design methodolog based on this, verification was conducted through demonstrations of system design networkill improvement in "Emotional Engineering" (Springer International Publishing), a book edited by Shuichi Fukuda. Maeno and Toma et al. Ha						
Publication year 2019 Jittle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI Abstract Abstract 技術や社会科学なと 「複数分野にまたか」。る横断的学問の体系化と、これに基つ「くシステム系 合的なデーサ」イン方法論の構築に関して、様々な分野でシステムデーサ「イン研究の実証を] した検証を行った。 前野らは、日本創造性学会において、感動のSTAR分析に関して有効性を検証する研究を発見し 。また当麻らは、Shuichi Fukudaが編集した書籍である「Emotional Engineering」(Springer International Publishing出版) の中で、スキル改善のための方法論を開発し、その可視化を行った。 前野・当麻らは、支援対話研究誌において、Generative Dialoguet設計方法を提案するとともに、 有効性を検証した。神武らは、オペレーションズ・リサーチ誌において、スポーツ価値向上の がのシステムデザインとデータ活用に関して発表し、実証的な検証を行った。 さらに神武らは、 ourmal of Diasater Research誌において、水資源マネジメントのデータコミュニケーション実証 証を行った。五百木らは、RIBER (Review of Integrative Business and Economics Research)誌 おいて、社会人の連携学習の評価とその効果を促進する方法に関して実証的研究を行った。ま) ゴム百木らは、RIBER誌において、コミュニティの活性度を測定し、それを高めるための手法にし して発表した。 本研究で ば、実際にフ ************************************	Sub Title					
Publication year 2019 Jittle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI Abstract 技術や社会科学なと 「複数分野にまたか」。る横断的学問の体系化と、これに基つ「くシステム4 合的なテ 「サ」イン方法論の構築に関して、様々な分野でシステムテ 「サ」イン研究の実証を1 した検証を行った。 前野らは、日本創造性学会において、感動のSTAR分析に関して有効性を検証する研究を発表し 。また当麻らは、Shuichi Fukudaが編集した書籍である「Emotional Engineering」(Springer International Publishing出版)の中で、スキル改善のための方法論を開発し、その可視化を行った。 前野・当麻らは、支援対話研究誌において、Generative Dialogue設計方法を提案するとともに、 有効性を検証した。神武らは、オペレーションズ・リサーチ誌において、スポーツ価値向上の1 めのシステムデザインとデーク法用に関して発表し、実証的な検証を行った。さらに神武らは、 ournal of Disaster Research誌において、オペローションズ・リサーチ誌において、スポーツ価値向上の1 めのジステムデザインとデーク法用に関して発表し、実証的な検証を行った。さらに神武らは、 ournal of Disaster Research誌において、コミュニティの活性度を測定し、それを高めるための手法にして発表した。 本研究で「は、実際にフ「ロトタイビ "ンク」を作成したり、フィールト「て「実践することし より方法論の検証を実施し、異なる様々な分野における週用デ「ータを収集した。これにより、 更に多くの分野て 「の適用を図り、検証を進める事ができたため、社会における有効性を高め ことに寄与した。 With regard to the systematization of cross-disciplinary learning across multiple fields such as technology and social sciences, and the construction of a system-integrative design methodolog based on this, verification was conducted through demonstrations of system design research in various fields. At the Japan Creativity Society, Maeno et al. presented a study to test the effectiveness of the STAR analysis of impression. We also developed and visualized a methodology for skill improvement in "Emotional Engineering" (Springer International Publishing), a book edited by Shuichi Fukuda. Maeno and Toma et al. Have proposed a generative dialogue design method and verified its effectiveness in a supporting dialogue research journal. In the Operations Research magazine, Kohtake and others presented on system design and dal utilization to improve sports value and conducted empirical verification. Furtherwore, Kohtake et conducted data communication demonstrations of water resource management in the Journal O Disaster Research. In a	Author					
Jittle 学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.) JaLC DOI 技術や社会科学なと「複数分野にまたか」る横断的学問の体系化と、これに基つ「くシステム体合物なテ 'サ 'イン方法論の構築に関して、様々な分野でシステムテ 'サ 'イン研究の実証を注した検証を行った。 前野らは、日本創造性学会において、感動のSTAR分析に関して有効性を検証する研究を発表し。 また当麻らは、Shuichi Fukudaが編集した書籍である「Emotional Engineering」(Springer International Publishing出版)の中で、スキル改善のための方法論を開発し、その可視化を行った。 前野 当麻らは、支援対話研究誌において、Generative Dialogue設計方法を提案するとともに、 有効性を検証した。軟式な、オペレーションズ・リサーチ誌におして、スポーツ価値向しつ) めのシステムデザインとデータ活用に関して発表し、実証的な検証を行った。まとら中執らは、 ournal of Disaster Research誌において、水資源マネジメントのデータコミュニケーション実証 証を行った。これて本人の超塊学習の好優全で改動す方法に関して実起的研究だった。まこを中執らは、 ournal of Disaster Research誌において、コミュニティの活性度を測定し、それを高めるための手法にして発表し、これにより、 すごれたは、RIBER誌において、コミュニティの活性度を測定し、それを高めるための手法にして発表した。 本研究で 'は、実際にフ 'ロトタイヒ 'ンク 'を作成したり、フィールト 'て '実践することし より方法論の検証を実施し、異なる様々な分野における道用デ 'ータを収集した。これにより、 更に合う、 の強し、空類のし、機証を進める事ができたため、社会における有効性を高め ととに寄与した。 With regard to the systematization of cross-disciplinary learning across mutilept fields such as technology and social sciences, and the construction of a system-integrative design methodolog based on this, verification was conducted through demonstrations of system design research in various fields. Xthe Japan Creativity Society. Maeno et al. presented a study to test the effectivenees of the STAR analysis of impression. We also developed and visualized a methodology for skill improvement in "Emotional Engineering" (Springer International Publishing), a book edited by Shuichin Fukuka. Naeno and Toma et al. Have proposed a generative dialogue design method and verified its effectiveness in a supporting dialogue research lournalization to improve sports value and conducted empirical verification. Furthermore, Koh	Publisher	慶應義塾大学				
JaLC DOI Abstract 技術や社会科学なと "複数分野にまたか "る横断的学問の体系化と、これに基つ "くシステム4 合的なテ "サ"イン方法論の構築に関して、様々な分野でシステムテ、"サ"イン研究の実証を) した検証を行った。 前野らは、日本創造性学会において、感動のSTAR分析に関して有効性を検証する研究を発表し 。また当麻らは、Shuichi Fukudaが編集した書籍である「Emotional Engineering」 (Springer International Publishing出版)の中で、スキル改善のための方法論を開発し、その可視化を行った。 前野らは、日本創造性学会において、Generative Dialogue設計方法を提案するとともに、 有効性を検証した。神祇らは、オペレーションズ・リサーチ誌において、スポーツ価値向上の) めのシステムデザインとデータ活用に関して発表し、実証的な検証を行った。さらに神祇らは、 のumal of Disaster Research誌において、水資源マネジメントのデータコミュニケーション実証 証を行った。む日本らは、RIBER (Review of Integrative Business and Economics Research) おいて、社会人の越境学習の評価とその効果を促進する方法に関して実証の研究を行った。ま 五百本らは、RIBER誌において、コミュニティの活性度を測し、それを高めるための手法に して発表した。 メガラ法論の検証を実施し、異なる様々な分野における適用テ、一クを収集した。これにより、 更に多くの分野て "の通用を図り、検証を進める事ができたため、社会における有効性を高め ことに寄与した。 With regard to the systematization of cross-disciplinary learning across multiple fields such as technology and social sciences, and the construction of a system-integrative design research in various fields. At the Japan Creativity Society, Maeno et al. presented a study to test the effectiveness of the STAR analysis of impression. We also developed and visualized a methodology for skill improvement in "Emotional Engineering" (Springer International Publishing), a book edited by Shuichi Fukuda. Maeno and Toma et al. Have proposed a generative dialogue design method and verified its effectiveness in a supporting dialogue research journal. In the Operations Research magazine, Kohtake and others presented on system design and dai utilization to improve sports value and conducted design method on ports international and have proposed a generative dialogue design method and verified its effectiveness in a supporting dialogue research journal. <	Publication year	2019				
Abstract 技術や社会科学なと「複数分野にまたか」る横断的学問の体系化と、これに基つ「くシステム」 合的なデ、サ、イン方法論の構築に関して、様々な分野でシステムデ、サ、イン研究の実証を1 した検証を行った。 前野らは、日本創造性学会において、感動のSTAR分析に関して有効性を検証する研究を発表し 。また当所らは、Shuichi Fukudaが編集した書籍である「Emotional Engineering」(Springer International Publishing出版)の中で、スキル改善のための方法論を開発し、その可視化を行った。 前野・当所らは、支援対話研究誌において、Generative Dialogue設計方法を提案するとともに、 有効性を検証した。神武らは、オペレーションズ・リサーチ誌において、スポーツ値向しつか めのシステムデザインとデータ活用に関して発表し、実証的な検証を行った。さらに神武らは、 ournal of Disaster Research誌において、小賞源マネジメントのデータコミュニケーション実証 証を行った。ごち木らは、RIBER (Review of Integrative Business and Economics Researchi おいて、社会人の雄境学習の評価とその効果を促進する方法に関して実践りた。まれこ五下らは、RIBERR誌において、コミュニティージョン実証 証を行った。まれらは、RIBER (Review of Integrative Business and Economics Researchi おいて、社会人の雄境学習の評価とその効果を促進する方法に関して実践りた。これにより、 支査本らは、RIBER誌において、コミュニティの活性度を測定し、それを高めるための手法に して発表した。 レデ教して、 本研究て、は、実際にフ、「ロトタイヒ、ンク、を作成したり、フィールト、て、実践すること(より方法論の検証を実施し、異なる様々な分野における適用デ、一タを収集した。これにより、 更に多くの分野て、の適用を図り、検証を進める事ができたため、社会における有効性を高め ことに寄与した。 With regard to the systematization of cross-disciplinary learning across multiple fields such as technology and social sciences, and the construction of a system-integrative design methodolog based on this, verification was conducted through demonstrations of system design research in various fields. At the Japan Creativity Society, Maeno et al. presented a study to test the effectiveness of the STAR analysis of impression. We also developed and visualized a methodology for skill improvement in "Emotional Engineering" (Springer International Publishing), a book edited by Shuichi Fukuda. Maeno and Toma et al. Have proposed a generative dialogue design method and verified its effectiveness in a supporting dialogue research journal. In the Operations Research magazine, Kohtak	Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)				
 合的なデ、サ、イン方法論の構築に関して、様々な分野でシステムデ、サ、イン研究の実証を)した検証を行った。 前野らは、日本創造性学会において、感動のSTAR分析に関して有効性を検証する研究を発表し。 また当麻らは、Shuichi Fukudaが編集した書籍である「Emotional Engineering」(Springer International Publishing出版)の中で、スキル改善のための方法論を開発し、その可視化を行った。 前野・当麻らは、支援対話研究誌において、Generative Dialogue設計方法を提案するとともに、有効性を検証した。神武らは、オペレーションズ、リサーチ誌において、スポーツ価値向上の)めのシステムデザインとデータ活用に関して発表し、実証的な検証を行った。さらに神武らは、のurnal of Disaster Research誌において、水資源マネジメントのデータコミュニケーション実証 証を行った。五百木らは、RIBER (Review of Integrative Business and Economics Research)誌おいて、ユミュニケーの活性度を測定し、それを高めるための手法に目して発表した。 本研究て、は、実際にフ、ロトタイビ、シク、を作成したり、フィールト、でて、実践することしより方法論の検証を実施し、異なる様々な分野における適用デ、一タを収集した。これにより、更に多くの分野て、の適用を図り、検証を進める事ができたため、社会における有効性を高めることに寄与した。 With regard to the systematization of cross-disciplinary learning across multiple fields such as technology and social sciences, and the construction of a system-integrative design methodolog based on this, verification was conducted through demonstrations of system design research in various fields. At the Japan Creativity Society, Maeno et al. presented a study to test the effectiveness of the STAR analysis of impression. We also developed and visualized a methodology for skill improvement in "Emotional Engineering" (Springer International Publishing), a book edited by Shuichi Fukuda. Maeno and Toma et al. Have proposed a generative dialogue design method and verified its effectiveness in a supporting dialogue research journal. In the Operations Research magazine, Kohtake and others presented on system design and dal utilization to improve spots value and conducted empirical verification. Furthermore, Kohtake et conducted a empirical study on evaluation of cross-border learning for adults and how to promit is effect. Also, in the report of RIBER magazine, loki et al. published a method for measuring this seffect. 	JaLC DOI					
In this study, methodology verification was conducted by actually making prototyping and practicing in the field, and collected application data in various different fields. As a result, it coul be applied in more fields, and verification could be promoted, thus contributing to enhancing the effectiveness in society.	Abstract	前野らは、日本創造性学会において、感動のSTAR分析に関して有効性を検証する研究を発表した。また当麻らは、Shuichi Fukudaが編集した書籍である「Emotional Engineering」(Springer International Publishing出版)の中で、スキル改善のための方法論を開発し、その可視化を行った。 前野・当麻らは、支援対話研究誌において、Generative Dialogue設計方法を提案するとともに、 有効性を検証した。神武らは、オペレーションズ・リサーチ誌において、スポーツ価値向上のた めのシステムデザインとデータ活用に関して発表し、実証的な検証を行った。さらに神武らは、J ournal of Disaster Research誌において、水資源マネジメントのデータコミュニケーション実証検 証を行った。五市木らは、RIBER (Review of Integrative Business and Economics Research誌に おいて、社会人の越境学習の評価とその効果を促進する方法に関して実証的研究を行った。また 五百木らは、RIBER誌において、、コミュニティの活性度を測定し、それを高めるための手法に関 して発表した。 本研究て "は、実際にフ "ロトタイヒ "ンク "を作成したり、フィールト "て "実践することに より方法論の検証を実施し、異なる様々な分野における違用テ "ータを収集した。これにより、 更に多くの分野て "の適用を図り、検証を進める事ができたため、社会における有効性を高める ことに寄与した。 With regard to the systematization of cross-disciplinary learning across multiple fields such as technology and social sciences, and the construction of a system-integrative design methodology based on this, verification was conducted through demonstrations of system design research in various fields. At the Japan Creativity Society, Maeno et al. presented a study to test the effectiveness of the STAR analysis of impression. We also developed and visualized a methodology for skill improvement in "Emotional Engineering" (Springer International Publishing), a book edited by Shuichi Fukuda. Maeno and Toma et al. Have proposed a generative dialogue design method and verified its effectiveness in a supporting dialogue research journal. In the Operations Research magazine, Kohtake and others presented on system design and data utilization to improve sports value and conducted empirical verification. Furthermore, Kohtake et al. conducted data communication demostrations of water resource management in the Journal of Disaster Research. In a review of RIBER (Review of Integrative Business and Economics Research), loki et al. conducted an empirical study on evaluation of cross-border learning for adults and how to promote its effect. Also, in the report of RIBER magazine, loki et al. published a method for measuring the activity of the co				
Notes						
Genre Research Paper	Genre	Research Paper				
URL https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000006-20180408	URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000006-20180408				

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2018 年度 学事振興資金(共同研究)研究成果実績報告書

2010 -				<u> </u>			
研究代表者	所属	大学院システムデザイン・マネジメント研究科 五百木 誠	斗 職名	准教授(有期)	一 補助額	950 ⁻	千円
	氏名		氏名(英語)	Makoto Ioki			
		矽	F究課題(日本	語)			
システムデザイ	ン研究の実証	による検証					
			研究課題(英詞	(7			
Implementation	and Validation	of System Design Research					
			研究組織				
氏	名 Name			職名 Affiliation, department, a	and position		
		大学院システムデサ			and position		
神武 直彦(Na	ohiko Kohtake	シンクティング 大学院システムデザ	・イン・マネジメン	小研究科 教授			
谷口 智彦 (To	-						
	etsuya Toma)	大学院システムデサ					
前野 隆司(Ta	kashi Maeno)	大学院システムデサ					
ᄔᄯᄡᅭᄼᄢ	<i>当 + - に +</i> = 米- ハ 罒		研究成果実績の		ハモキシュキ	(午日日) -	- ∔¥
		剤にまたかる傾断的字向の体 研究の実証を通した検証を行		基づくシステム統合的なデザ	コンク法論の構	来に関し	し、物
				を検証する研究を発表した。	また当麻らは、	Shuichi Fu	ukuda
		onal Engineering」(Springer In	ternational Pub	lishing 出版)の中で、スキルさ	改善のための方	法論を開	発し、
その可視化を行		やまにおいて Constative Dia	loguo 관람士注	を提案するとともに、有効性を	に検証した 抽引		<u>د</u> ا ،
				を従来りることもに、有効圧さ ンとデータ活用に関して発表し			
							。さら
				ノトのデータコミュニケーション			
に神武らは、Jo は、RIBER (Rev	ournal of Disas view of Integra	ster Research 誌において、か tive Business and Economics	く資源マネジメン Research)誌に	νトのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習α	∨実証検証を行 D評価とその効	った。五百 果を促進す	■木ら 「る方
に神武らは、Jo は、RIBER (Rev 法に関して実証	ournal of Disas view of Integra	ster Research 誌において、か tive Business and Economics	く資源マネジメン Research)誌に	ットのデータコミュニケーショ ン	∨実証検証を行 D評価とその効	った。五百 果を促進す	■木ら 「る方
に神武らは、Jo は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。	ournal of Disas view of Integra 的研究を行っ	iter Research 誌において、水 tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER 詞	く資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、そ	ン実証検証を行 D評価とその効! それを高めるたと	った。五百 果を促進す めの手法に	i木ら 「る方 こ関し
に神武らは、Jo は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実	ournal of Disas view of Integra 的研究を行っ 際にプロトタイ	ster Research 誌において、水 tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER 調 パピングを作成したり、フィール	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ・ドで実践するこ	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施	ン実証検証を行 D評価とその効果 それを高めるため し、異なる様々	った。五百 果を促進す めの手法に な分野にお	i木ら 「る方 に関し いる
に神武らは、Jo は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実	ournal of Disas view of Integra 的研究を行っ 際にプロトタイ	ster Research 誌において、水 tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER 調 パピングを作成したり、フィール	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ・ドで実践するこ	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、そ	ン実証検証を行 D評価とその効果 それを高めるため し、異なる様々	った。五百 果を促進す めの手法に な分野にお	i木ら 「る方 に関し いる
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収	ournal of Disas view of Integra 的研究を行っ 際にプロトタイ	ster Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会	ン実証検証を行 D評価とその効果 それを高めるため し、異なる様々	った。五百 果を促進す めの手法に な分野にお	i木ら 「る方 こ関し いる
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収	ournal of Disas view of Integra 的研究を行っ 際にプロトタイ	ster Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ・ドで実践するこ	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会	ン実証検証を行 D評価とその効果 それを高めるため し、異なる様々	った。五百 果を促進す めの手法に な分野にお	i木ら 「る方 に関し いる
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。	ournal of Disas view of Integra 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに	ster Research 誌において、水 tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2.研究	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概	ハのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳)	ン実証検証を行)評価とその効! それを高めるため し、異なる様々 会における有効	った。五百 果を促進す な分野にま 性を高め [、]	5本ら方に、1000000000000000000000000000000000000
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to	ournal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemati:	ster Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER パピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2.研究 zation of cross-disciplinary lo	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会	ン実証検証を行 D評価とその効果 それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and social	った。五百 果を促進す な分野にお い性を高め、	京木ら方 こ 同 い る こ に い る こ 、 の の の の 、 の の の の の の の の の の の の の
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the constructic system design 1	ournal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemation of a system research in var	ster Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2.研究 zation of cross-disciplinary lo n-integrative design methodo rious fields.	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 CI成果実績の概 earning across logy based on	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、 とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct	ン実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der	った。五百 果を促進す な分野にお はを高め、 Il sciences monstratio	i 本 ら 方 し る る 、 and s, and o ns of
に神武らは、Jo は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan (burnal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemation of a system research in var Creativity Soci	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2.研究 zation of cross-disciplinary le i-integrative design methodo ious fields. ety, Maeno et al. presented	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on a study to test	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、 とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST	ン実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der	った。五百 果を促進す な分野にま な分野にま は sciences monstratio impressio	i 不 る 大 た た 、 た 、 、 and 、 and and and and and and and a
に神武らは、Jd は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan (also developed	burnal of Disas view of Integrar 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemation of a system research in var Creativity Soci and visualized	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented a methodology for skill imp	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on a study to test	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、 とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct	ン実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der	った。五百 果を促進す な分野にま な分野にま は sciences monstratio impressio	i 不 る 大 た た 、 た 、 、 and 、 and and and and and and and a
に神武らは、Jd は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design i At the Japan C also developed book edited by	ournal of Disas view of Integrar 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemation of a system research in var Creativity Soci and visualized Shuichi Fukuda	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented d a methodology for skill imp a.	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 E成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、 とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST	ン実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der GR analysis of ger Internationa	った。五百 果を促進す な分野にま な分野にま は sciences monstratio impressio al Publishin	i 木ら方し こ 関 けると s, and n. We ng), a
に神武らは、Jo は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan (also developed book edited by Maeno and Tor research journa	ournal of Disas view of Integrar 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemation of a system research in var Creativity Soci- and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I.	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研タ zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented d a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 E成果実績の概 earning across logy based on f a study to test rovement in "E	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、 とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST motional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective	ン実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々に 会における有効 ology and socia ted through der GR analysis of ger Internationa	った。五百 果を促進す めの手法に な分野にま は な分野にま は sciences monstratio al Publishin porting dia	i 不 ら た よ け て よ け て と 、 anc n, we ng), a logue
に神武らは、Jo は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 面用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan (also developed book edited by Maeno and Tor research journa In the Operation	ournal of Disas view of Integrar 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemation of a system research in var Creativity Soci- and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I. ns Research r	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented d a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 E成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E gue design met s presented on	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、 とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST motional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilit	ン実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro	った。五百 果を促進す めの手法に な分野にま は な分野にま は sciences monstratio al Publishin porting dia ve sports	i T 大 ら 方 こ 関 し る こ と し 、 こ 、 の た と 、 、 の た し 、 る 、 こ し し る こ と し 、 る こ と し 、 る こ と し 、 る 、 こ 、 の ち の こ し 、 る こ と し 、 る こ と し 、 る こ と し 、 る こ と し 、 る こ と し 、 る こ と し 、 る こ と し 、 る こ と 、 、 の の の い 、 の の い 、 の の の い 、 の の い 、 の の の い 、 の の の の い 、 の の の い 、 の の の の の の い 、 の の の の の の の の の の の の の
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan (Calso developed book edited by Maeno and Tor research journa In the Operation and conducted	burnal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemation of a system research in var Creativity Soci and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I. ns Research r empirical verit	ter Research 誌において、 tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER ビングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtak	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 E成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E gue design met s presented on	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、 とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST motional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective	ン実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro	った。五百 果を促進す めの手法に な分野にま は な分野にま は sciences monstratio al Publishin porting dia ve sports	i T 大 ら 方 よ け る こ と 、 and f 、 and f 、 and f 、 and f 、 and く し る こ と し る こ と し る こ と し る る こ と し る る こ と し る る こ と し る る こ と し る る こ と し る る こ と し る る こ と し る る こ と し る る こ と し う る こ と し う る こ と し う る こ と し う る こ と し う る こ と し う る こ し う の ち ろ こ と ち ろ こ し ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち の ち ろ ろ ち ろ ろ ち ろ ろ ち ろ ろ ろ ち ろ ろ ろ ち ろ ろ ろ ろ ろ ち ろ ろ ろ ろ ろ ろ ち ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ち ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ち ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ ろ
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan (also developed book edited by Maeno and Tor research journa In the Operation and conducted management in	burnal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systematic on of a system research in var Creativity Soci and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I. ns Research r empirical verifi the Journal of	ter Research 誌において、外 tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented d a methodology for skill imp a. e proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtake Disaster Research.	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on f a study to test rovement in "E ogue design met s presented on e et al. conduc	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST fmotional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilitie ted data communication der	ン実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro nonstrations of	った。五百 東を促進す な分野にま な分野にま はを高め、 al sciences monstratio impression al Publishin porting dia ve sports water reso	i 本 ら 方 よ け る こ と 、 anc of n 、 anc of n 、 anc of n 、 anc of し る こ と 、 、 anc of し る こ と 、 、 anc of し る こ と 、 、 anc of し る こ と 、 、 anc of し る こ と 、 、 anc of し る こ と 、 、 anc of し る こ と 、 、 anc of し る こ と 、 、 る こ と 、 、 の の 、 の 、 の の 、 の 、 の の 、 の 、 の 、 の の 、 の 、 の の の 、 の の 、 の の 、 の の 、 の の の 、 の の の 、 の の 、 の の の の 、 の の の の の の の の の の の の の
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan (also developed book edited by Maeno and Tor research journa In the Operation and conducted management in In a review of F	burnal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemation of a system research in var Creativity Soci- and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I. ns Research r empirical veriti the Journal of RBER (Review	ter Research 誌において、 tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER アピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研タ zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtake Disaster Research. of Integrative Business and B	く資源マネジメン Research)誌に 志において、コミ 小で実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on f a study to test rovement in "E gue design met s presented on e et al. conduc Economics Rese	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、 とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST motional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilit	ン実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro nonstrations of n empirical stud	った。五百 東を促進す な分野にま な分野にま はな分野にま は sciences monstratio al sciences monstratio al Publishin porting dia ve sports water resu	京木ら方し うち方し らけると s, and n. We ng), a logue value ource
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan (also developed book edited by Maeno and Tor research journa In the Operation and conducted management in In a review of F of cross-borde method for mea	burnal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systematic of a system research in var Creativity Soci and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I. ns Research r empirical verifi the Journal of RIBER (Review r learning for asuring the act	ter Research 誌において、 tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER アピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented a methodology for skill imp a. proposed a generative dialoc magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtake Disaster Research. of Integrative Business and F adults and how to promote ivity of the community and er	く資源マネジメン Research)誌に 志において、コミ 小で実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on - a study to test rovement in "E gue design met s presented on e et al. conduct Economics Rese its effect. Also hancing it.	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ニュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST imotional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilizited data communication dem earch), loki et al. conducted a b, in the report of RIBER ma	レ実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々に 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro nonstrations of n empirical stuc agazine, Ioki et	った。五百ず 果を促進す な分野にま な分野にま はな分野によ は sciences monstratio al sciences monstratio al sciences monstratio al publishin porting dia ve sports water resu al. publish	i 木ら方 る方し らけること s, anci ns of ns, anci ng), a logue value ource uatior ned a
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan C also developed book edited by Maeno and Tor research journa in the Operation and conducted management in in a review of F of cross-borde method for mea in this study,	burnal of Disas iew of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systematic n of a system research in var Creativity Soci and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I. ns Research r empirical verif the Journal of RIBER (Review r learning for isuring the act methodology	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo ious fields. ety, Maeno et al. presented a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo nagazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtak Disaster Research. of Integrative Business and F adults and how to promote ivity of the community and er verification was conducted b	く資源マネジメン Research)誌に 志において、コミ 小で実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E gue design mei s presented on e et al. conduct Economics Rese its effect. Also hancing it. by actually make a study make a study make b a study mak	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ニュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST motional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilit ted data communication dem earch), Ioki et al. conducted a o, in the report of RIBER matic sting prototyping and practici	レ実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro nonstrations of n empirical stuc agazine, Ioki et ing in the field	った。五百ず 泉を促進す な分野にま な分野にま はな分野にあ は sciences monstratio impression al Publishin porting dia ve sports water rese dy on evalu al. publish	i 木ら方 る方し ふけると s, and ng), a logue uatior ected ected
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan (Ca and construction system design in At the Japan (Ca book edited by Maeno and Tor research journa in the Operation and conducted management in in a review of F of cross-borde method for mea in this study, application data	burnal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systematic n of a system research in var Creativity Soci and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I. ns Research r empirical verif the Journal of RIBER (Review r learning for asuring the act methodology va a in various di	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtak Disaster Research. of Integrative Business and F adults and how to promote ivity of the community and er verification was conducted b fferent fields. As a result, it	く資源マネジメン Research)誌に 志において、コミ 小で実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E gue design mei s presented on e et al. conduct Economics Rese its effect. Also hancing it. by actually make a study make a study make b a study mak	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ニュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST imotional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilizited data communication dem earch), loki et al. conducted a b, in the report of RIBER ma	レ実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro nonstrations of n empirical stuc agazine, Ioki et ing in the field	った。五百ず 泉を促進す な分野にま な分野にま はな分野にあ は sciences monstratio impression al Publishin porting dia ve sports water rese dy on evalu al. publish	i 木ら方 る方し らけること s, anod n. We ng), a logue uatior ned a ected
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction system design in At the Japan (also developed book edited by Maeno and Tor research journa In the Operation and conducted management in In a review of F of cross-borde method for mea In this study, application data	burnal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systematic n of a system research in var Creativity Soci and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I. ns Research r empirical verif the Journal of RIBER (Review r learning for asuring the act methodology va a in various di	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le -integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented d a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtak Disaster Research. of Integrative Business and F adults and how to promote ivity of the community and er verification was conducted b fferent fields. As a result, it effectiveness in society.	<資源マネジメン Research)誌に 誌において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E gue design met s presented on te et al. conduct Economics Rese its effect. Also by actually mak could be applie	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ニュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST motional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilit ted data communication derr earch), loki et al. conducted a b, in the report of RIBER match ing prototyping and practici ed in more fields, and verific	レ実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro nonstrations of n empirical stuc agazine, Ioki et ing in the field	った。五百ず 泉を促進す な分野にま な分野にま はな分野にま はな分野にま に al sciences monstratio impression al Publishin porting dia ve sports water rese dy on evalu al. publish	i 木ら方 る方し らけること s, anod n. We ng), a logue uatior ned a ected
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表した。 本研究では、実 適用データを収 に寄与した。 With regard to the construction At the Japan C also developed book edited by Maeno and Tor research journa in the Operation and conducted management in in a review of F of cross-borde method for mea in this study, application data contributing to	ournal of Disas view of Integrar 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemation of a system research in var creativity Social and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have and the shuichi Fukuda na e	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented d a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtake Disaster Research. of Integrative Business and F adults and how to promote ivity of the community and er verification was conducted b fferent fields. As a result, it effectiveness in society. 3. 本 発表課題名	、資源マネジメン Research)誌に 志において、コミ ドで実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E gue design met s presented on e et al. conduc Economics Rese its effect. Also hancing it. by actually mak could be applie で研究課題に関	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、 とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST motional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilit ted data communication dem earch), loki et al. conducted a b, in the report of RIBER ma sing prototyping and practici ed in more fields, and verific する発表 発表学術誌名	レ実証検証を行 D評価とその効果 それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro- nonstrations of n empirical stud agazine, Ioki et ing in the field ation could be	った。五百 果を促進す めの手法に な分野によ はな分野によ はな分野によ に に い の い た こ の の い た い の の で 、 の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	す木ら方 こ間 いけること 3, and n. We ng), a logue uation ned a ected thus
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発表では、実 面用データを収 に寄与した。 With regard to the constructor system design At the Japan (also developed book edited by Maeno and Tor research journa in the Operation and conducted management in in a review of F of cross-borde method for mea in this study, application data contributing to 発表す 西尾未希,牧	burnal of Disas iew of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systematic n of a system research in var creativity Soci and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have l. ns Research r empirical verif the Journal of RIBER (Review r learning for asuring the act methodology va a in various di enhancing the f氏名 講演者) 野泰才, 白坂	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented d a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtak Disaster Research. of Integrative Business and F adults and how to promote ivity of the community and er verification was conducted b fferent fields. As a result, it effectiveness in society. 3. 本	、資源マネジメン Research)誌に 志において、コミ 小で実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E gue design mer s presented on e et al. conduct Economics Rese its effect. Also hancing it. by actually mak could be applie 「研究課題に関」 ()	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST fmotional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilities the data communication dem earch), loki et al. conducted a b, in the report of RIBER match sing prototyping and practicities and in more fields, and verific	レ実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro nonstrations of n empirical stuc agazine, Ioki et ing in the field ation could be	った。五百 果を促進す な分野によ な分野によ は sciences monstratio al sciences monstratio al Publishin porting dia ve sports water rese al. publish al. publish promoted, promoted,	i 木ら方 こ間 い う う う う う う う こ し う う う こ し う う こ し う う こ し う う こ し う う こ し う う こ し う う こ と し う う こ と
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev 法、RIBER (Rev 法に関して実証 て発研データを切 に寄与した。 With regard to the construction At the Japan C also developed book edited by Maeno and Tor research journa in the Operation and conducted management in in a review of F of cross-borde method for mea in this study, application data contributing to 発者者・ て 素者・ 大 の の 方 の 方 の 方 の 方 の 方 の 方 の 方 の 方 の	wirnal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systemation of a system research in var creativity Soci- and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I. ns Research r empirical verif the Journal of RIBER (Review r learning for asuring the act methodology va a in various di enhancing the f氏名 講演者) 野泰才, 白坂	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented d a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtak Disaster Research. of Integrative Business and F adults and how to promote ivity of the community and er verification was conducted b fferent fields. As a result, it effectiveness in society. 3. 本 発表課題名 (著書名・演題) 感動の STAR 分析の有効性	、資源マネジメン Research)誌に 志において、コミ ・ドで実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E gue design mei s presented on e et al. conduc Economics Rese its effect. Also ohancing it. by actually mak could be applie で研究課題に関 (注検証 日本倉	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ュニティの活性度を測定し、 とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST imotional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilit ted data communication dem earch), loki et al. conducted a b, in the report of RIBER matic ting prototyping and practicited in more fields, and verific 予る発表 発表学術誌名 著書発行所・講演学会)	レ実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro- nonstrations of n empirical stud agazine, Ioki et ing in the field ation could be 学術誌 (著書発行年	った。五百 果を促進す めの手法に な分野によ はな分野によ はな分野によ に に い の い た こ の の い た い の の で 、 の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	T木ら方 こ関し ふ方こし ふ, anc n, We ng), a logue value ource uatior ned a ectec thus
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev は、RIBER (Rev 法に関して実証 て本研究一夕を収 に寄うした。 With regard to the constructor system design At the Japan (also developed book edited by Maeno and Tor research journa In the Operation and conducted management in In a review of F of cross-borde method for mea In this study, application data contributing to	burnal of Disas view of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systematic n of a system research in var creativity Socia and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have I. ns Research r empirical verif the Journal of RIBER (Review r learning for asuring the act methodology va a in various di enhancing the f氏名 講演者) 野泰才, 白坂 保井俊之, 当 司	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le n-integrative design methodo ious fields. ety, Maeno et al. presented a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtak Disaster Research. of Integrative Business and F adults and how to promote ivity of the community and er verification was conducted b fferent fields. As a result, it effectiveness in society. 3. 本 <u>発表課題名</u> (著書名・演題) 感動の STAR 分析の有効性 Generative Dialogue 設計方 案及び有効性の検証	、資源マネジメン Research)誌に 志において、コミ 小で実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E gue design met s presented on e et al. conduct Economics Rese its effect. Also hancing it. by actually mak could be applie 「研究課題に関」 (注検証 日本倉 法の提 支援交	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ニュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST imotional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilit ted data communication dem earch), loki et al. conducted a b, in the report of RIBER mat sing prototyping and practici ed in more fields, and verific する発表 発表学術誌名 著書発行所・講演学会) 引造学会論文誌, Vol. 22	レ実証検証を行 D評価とその効け それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro- nonstrations of n empirical stuce agazine, Ioki et ing in the field ation could be 学術誌 (著書発行年 2019 年 3 月 2018 年 7 月	った。五百 果を促進す めの手法に な分野によ はな分野によ はな分野によ に に い の い た こ の の い た い の の で 、 の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	す木ら方 こ間 い う 、 and の 、 walue ource uation ned a ected thus
に神武らは、Ja は、RIBER (Rev は、RIBER (Rev 法に関して実証 て発研用データを切 に寄うした。 With regard to the constructor system design At the Japan (also developed book edited by Maeno and Tor research journa in the Operation and conducted management in in a review of F of cross-borde method for mea in this study, application data contributing to 業者、牧言 成有新野香子,何 版	wirnal of Disas iew of Integrat 的研究を行っ 際にプロトタイ 集した。これに the systematic n of a system research in var creativity Soci and visualized Shuichi Fukuda na et al. Have l. ns Research r empirical verit the Journal of RIBER (Review r learning for asuring the act methodology va a in various di enhancing the f氏名 講者) 野泰才, 白坂 保井俊之, 当 词 aoka, Iwane	ter Research 誌において、か tive Business and Economics た。また五百木らは、RIBER だピングを作成したり、フィール こより、更に多くの分野での適 2. 研究 zation of cross-disciplinary le - integrative design methodo rious fields. ety, Maeno et al. presented a methodology for skill imp a. proposed a generative dialo magazine, Kohtake and others fication. Furthermore, Kohtake Disaster Research. of Integrative Business and F adults and how to promote ivity of the community and er verification was conducted b fferent fields. As a result, it effectiveness in society. 3. 本 <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>adults and how to promote</u> ivity of the community and er verification was conducted b fferent fields. As a result, it effectiveness in society. 3. 本 <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u>Rate</u> <u></u>	、資源マネジメン Research)誌に 志において、コミ 小で実践するこ 用を図り、検証 記成果実績の概 earning across logy based on a study to test rovement in "E gue design met s presented on e et al. conduct Economics Rese its effect. Also hancing it. by actually mak could be applie 「研究課題に関」 (注検証 日本倉 法の提 支援交	ットのデータコミュニケーション おいて、社会人の越境学習の ニュニティの活性度を測定し、そ とにより方法論の検証を実施 を進める事ができたため、社会 要(英訳) multiple fields such as techn this, verification was conduct the effectiveness of the ST imotional Engineering ["] (Sprin thod and verified its effective system design and data utilit ted data communication dem earch), loki et al. conducted a b, in the report of RIBER mat sing prototyping and practici ed in more fields, and verific する発表 発表学術誌名 著書発行所・講演学会) 引造学会論文誌, Vol. 22	レ実証検証を行 D評価とその効果 それを高めるため し、異なる様々 会における有効 ology and socia ted through der AR analysis of ger Internationa eness in a supp zation to impro nonstrations of n empirical stud agazine, Ioki et ing in the field ation could be 学術誌 (著書発行年 2019 年 3 月	った。五百 果を促進す めの手法に な分野によ はな分野によ はな分野によ に に い の い た こ の の い た い の の で 、 の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の 手法に の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	す木ら方 こ間 いけること 3, and n. We ng), a logue uation ned a ected thus

Sharma Bhagabati, Akira Kodaka, Naohiko Kohtake, Akiyuki Kawasaki, Ralph Allen	Data Communication for Efficient Water Resource Management among Multiple Stakeholders: A Case Study in the Bago River Basin, Myanmar	Journal of Disaster Research	Feb 2018
-	Proposal of Method and Tool to Promote Knowledge Brokering in Cross-boundary Learning for Organization's Knowledge Acquisition and Personal Career Development	Review of Integrative Business and Economics Research	2020
Kobayashi, Seiko Shirasaka,	Proposal of a Method to Evaluate and Promote a Degree of Community Activation	Review of Integrative Business and Economics Research	2020